

# 競技上の注意（個人戦）

審判長：八百野 真人

## <ルールについて>

- 1 現行の日本卓球ルールを適用する。
- 2 11点5ゲームスマッチでタイムアウト制を採用する。ただし、1マッチに1回、1分以内を厳守すること。
- 3 公認のユニフォームを着用し、今年度の日本卓球協会ゼッケンを着用する。

## <アドバイザーについて>

- 1 1回戦目からベンチコーチを認めます。ただし1試合につきベンチコーチは1人までとし、一度抜けたら再度入りなおすことはできません。
- 2 ベンチコーチはニッタク登録をしている監督か選手のみとなります。

## <進行について（別紙1・2）>

- 1 別紙1タイムテーブルをもとに、ベンチコール方式によって進行する。  
(タイムテーブルはあくまでも試合予定時刻の目安である。また、当該コートでの実施とは限らないため、放送に注意。)

## <審判について>

- 1 第1試合の審判は別紙2記載の選手が行う。以降は、敗者審判による。

## <県大会について>

- 1 男女とも本戦トーナメント3回戦以降で敗退した選手は県大会の出場登録を行って下さい。
- 2 スーパーシードの選手は県大会の出場が決定しています。

## <交流戦について>

- 1 初戦敗退者を対象に交流戦を行います。対象者は放送に注意し、コールがありましたら小体育館へ集合してください。